

## 令和元年度 第3回稚内市廃棄物減量等推進審議会開催結果（議事録）

### 1. 日 時

令和2年1月17日（金） 14：00～15：20

### 2. 場 所

稚内総合文化センター 美術室

### 3. 会議の概要

#### (1) 一般廃棄物処理基本計画（案）について

・案について了承。

#### (2) 答申書（案）について

・字句の整理について会長一任とし、案について了承。

#### (3) その他

・令和2年1月20日（月）、会長・副会長から市長へ答申。

以下に、意見及び質疑応答に関する発言を記載しますが、発言者を特定できないように氏名を伏せています。

【意見・質疑応答】 ○：審議会委員 ●：事務局

#### (1) 一般廃棄物処理基本計画（案）について

○：産業廃棄物の記載について検討の結果、記載しないとしたのか。

●：そのような整理とした。

○：稚内市のごみが多い状況について、数値には表れているが原因が不明な状況。市民の皆さんがごみを減らしていくためにも何かきっかけとなるものがなければならぬだろう。委員の皆さんの意見も伺いながら進めていきたい。

○：事業系ごみについて、適正な分別がされていないような話も聞く。実際の状況はどのようなになっているのか。

○：分別がされていない状況は事実だと思う。

- ：ごみが多い原因について、確定的なものとはつかめていない。今後もごみ質調査を継続し、食品ロスや排出抑制に向けた事業を進めていきたい。また、事業系ごみ質調査についても、調査手法を検討し状況の把握に努める。
- ：ごみの量については、確かに多い状況が続いている。自治体によってごみの処理方法も異なっており、広域処理を行っている自治体、焼却を行っている自治体など様々である。また、稚内市と同様に海に面した自治体においても、市が処理する廃棄物が異なる状況もある。改めて計画書にも記載している、市民・事業者・市の役割を示し計画を立てながら、ごみ減量化に向けた取り組みを進めていく。
- ：ごみ減量に向けた具体的なものが感じられない。
- ：基本計画では大きな捉え方をしている。ご指摘の部分については、具体的な年次計画を立てながら減らしていきたい。また、町内会等へ出向いての出前講座についてもしっかりと取り組んでいきたい。
- ：一般ごみに資源物や生ごみが7割も混入している状況については、分別によって減少すると思うが、分別の徹底について計画に項目が記載されていないのではないだろうか。
- ：推進方策4「ごみ適正処理の推進」、4-1市民の行動において適正な分別の徹底について記載している。ごみの分別とごみの減量は必ずしもリンクしないものであり、資源物についても廃棄物の内数であることから、それぞれ別の項目として記載している。
- ：委員皆さんの問題意識と基本計画を纏めることのギャップがあるのかと思う。今後は進行管理において計画を評価改善し、これから調査研究を進めて行くということであり、現時点では仕方のない事なのだろう。
- ：審議会としても、次の段階ではもう一步踏み込んで、現状を変えていく方向で検討していくべきと考えている。
- ：もう少し大きな意味で、分別の徹底がされるように努めるなど、徹底、浸透させていく事について項目があった方が良いと感じている。
- ：精神論のような記載ではなく、具体的なものがなければ人任せ、事業者任せになってしまう。年に何度か集まり、良い提案の仕方について考えていくのも審議会の役割なのではないだろうか。
- ：基本計画を纏めた後で、市民・事業者・市の役割についてわかりやすく広報する必要があるだろう。
- ：書くのは簡単だが、それを実施していくのが大変である。稚内市の場合は埋立方式で

処分がされているので、それも安易にごみが捨てられてしまう原因のひとつではないかとの気もする。

- ：ごみステーション等において、地道な指導をしていくしかないだろう。警告シールにより置いていかれたゴミについても、期間が経ち本人が見る前に回収がされてしまう。町内会に職員が入り直接指導する事も一つの方法かと思う。
- ：基本計画において、市民・事業者・市の役割を明確にし、それぞれ三者が同じ方向を向いて、ごみ処理を進めていかなければ一朝一夕に問題は解決できない。市としてもステーションの巡回や広報周知に努めていくが、市民の皆さん一人一人が意識を持っていただくことも非常に大切な事だと思う。ごみを捨ててしまえば回収される状況から、それほど分別をしなくても良いと考える方もいらっしゃる現状もあるが、改めて原点に立ち返り、市民の皆様にも問題意識を持っていただく事も同時に進めていきたい。
- ：進行管理については、どこが主体となっていくのか。
- ：市が行っていく。審議会の皆様には現状の報告、そして今後の方向性等についてご意見をいただきながら次のステップに向かうようなサイクルとしていきたい。
- ：審議会としても、ここに関与していくという事で良いか。
- ：現状の説明と今後の取り組みについてご意見をいただきながら進めていきたい。
- ：基本計画に基づく実施計画は策定するのか。
- ：実施計画に相当する、担当課が実施する事業の年次計画を作成し、審議会の皆様にもご提示していく。
- ：審議会が評価や改善を直接行わないという事で良いか。その場合、どこが計画の練り直していくのか。
- ：計画の練り直しは市が行う。それにあたり、審議会にもお諮りする。
- ：基本計画には、審議会の役割について記載はしないか？
- ：審議会の役割については、市長から諮問された事項について審議・諮問をいただくとして記載をしている。今回は基本計画についてご審議をいただいたが、今後は事業の成果報告をしながら次につなげる議論をいただきたい。
- ：子供たちへの意識啓発は、親への影響も大きいと思う。基本計画を踏まえ、改善対策等について知恵を出していくことについて理解する。
- ：計画が餅に描いた絵とならないよう、事業の成果について審議会へ報告させていただくとともに、次にどのような取り組みを進めていくかについてご意見とご協力をいただきたい。

- ：市のこども会議などにおいて、教育との連携を図り、ごみ問題に取り組んでもらうような提案するのも良いのではないか。同じことを繰り返して行くことも大切だが、違った視点を与えていくのも大切だと思う。
- ：行政内部の横の連携を図り、環境教育や啓発についても取り組んでいきたい。また、基本計画に基づき、具体的に何をしていくかについては皆さんとも協議し、方向性を一致させながら進めていきたい。
- ：今後も必要に応じて年に数回の審議会を開催し、アイデアを集めながら議論をしていくと考えらる。
- ：事業の実施には、予算の関係もあるのだろう。
- ：新たに予算が伴う事業については、すぐに実施できないものもある。しかし、既存の事業のなかで対応が可能な部分もあるので、そのような対応をしていきたい。

## (2) 答申(案)について

- ：内容については理解した。表現の仕方について読みやすくわかりやすいように字句の整理が必要ではないだろうか。
- ：「高齢化社会に対応したごみ出し支援」について、計画書の中では記載されていただろうか。
- ：「生活弱者へのサポート」として、計画にも盛り込まれている。
- ：文言として、生活弱者に統一した方が良いのではないか。
- ：一般的には、幅広い意味を持つ生活弱者という表現を用い、その中に高齢者や障害をお持ちの方も含まれるのではないか。